

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名

令和4年度 第2回 幹事会

開催日時

令和4年6月27日(月) 14:30~15:30

参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所福祉課、中野市福祉課、飯山市保健福祉課、山ノ内町健康福祉課、木島平村民生課、野沢温泉村民生課、栄村民生課、高水福祉会、総合安心センターはるかぜ、北信圏域障害者総合相談支援センター

本日のテーマ、課題等

- ①相談支援専門員の活動報告 ②第1回自立支援協議会の報告 ③重心・医ケア部会より
④その他

会議で話し合われた事

① 相談支援専門員の活動報告

○就業・生活支援センター

- ・令和4年度より就業支援ワーカー2名体制で実施。
- ・地域行政や就労継続支援事業所の理解、協力の元、就労アセスメントの新しいスタイルが模索されている。事業スタイルの検証をしつつ、当事者利益が最優先となる内容を構築していきたい。

○療育

- ・新型コロナによる影響としては、感染拡大により5月に予定していた自立支援協議会そだちネットワーク部会が中止となり、今年度初回の開催が7月5日に延期となっている。
- ・6月より中野市にて児童クラブ訪問事業(放課後児童支援相談)が開始となった。今年度は2つの児童クラブ(センター)にて実施し、「特性のあるなしに関わらない、お子さんの安心安全な居場所づくり」を目指す。

○安心コーディネーター

- ・8050問題。同居する家族の高齢化に伴い介護能力の衰えが生じ、家庭内での対応が困難になっていることが多い。
- ・緊急事態を発生させない、緊急を繰り返さないための支援を心掛けていたが、粗暴行為が改善しないケースについて。日中の過ごし方も含め、緊急対応の回数を減らすための支援及びモニタリングが必要な状況である。
- ・今後、空床登録者のニーズについてモニタリングを行う予定。

○基幹相談

- ・新規で相談支援事業所たむろが6月に開所。後方支援を行っていきたい。
- ・潜在的な要支援者への早期介入を押し進めていく必要性。特に療育手帳A判定の方々とは早期につながれると良い。
- ・高齢の親に支援が入るようになり、障がいのある子どもの将来を心配し、相談につながるケースが少なからずある。高齢分野と障がい分野の更なる連携強化が必要。

② 第1回自立支援協議会の報告

- ・第1回の自立支援協議会は書面決議で行われ、すべての議案について、過半数の賛成をもって可決された。

③ 重心・医ケア部会より

- ・医ケア児用の個別避難計画の作成に向けて2名のお子さんを対象にシートを作成中。使いやすい書式になるよう見直しも行いたい。
- ・県医療的ケア児等支援センターからの声かけで6/6に北信総合病院を訪問した。北信総合病院の現状もうかがう中でレスパイトのための病床確保は難しいことが分かった。

④ その他

○県自立支援協議会の報告

- ・長野県自立支援協議会の役割、機能の確認。